

JANUARY NEWSLETTER



キャンプで受けた恵み ～婦人より



この冬の聖書キャンプに参加できたことを感謝します。

12月の初め、久しぶりにスポーツをした際に転び、右腕を痛めました。

ハレルヤと手をあげるのも辛く、右ひじのすり傷も服が触れるだけで痛む状態でした。そして体を動かすことに少し臆病になりました。

怪我をした直後、イエスさまの名前によって癒しを祈り、感謝しました。

すると、すり傷は、約2週間で癒され、キャンプ前には腕も自然に上げられるようになりました。

体が癒されたことで、キャンプ二日目のハイキングにも参加することができました。

雨が予測されていましたが、お天気も守られ、丘から見た眺めは素晴らしく、また神にある兄弟姉妹で励まし合いコースを歩くことができました。

神様の豊かな恵みに心から感謝しました。

主の癒しと守りに、心から感謝します。

ハレルヤ

その大能のみわざのゆえに、神をほめたたえよ。

そのすぐれた偉大さのゆえに、神をほめたたえよ。

(詩篇 150:2)



今回のキャンプで、イエス様の十字架での死と復活を通して、私の罪が赦され、神の子にされ、再度相続権を与えられたこと。父なる神様、イエス様、聖霊様がいつも共に居てくださり、イエス様はこの地上での私の歩む先を歩いて下さり、「イエス様」と呼ぶと、そこに居てくださる。これらの真理を与えてくださったこと、感謝致します。

2日目の朝の祈りで祈った、子育てのこと。ずっとどうしていいかわからず悩んでいました。一向に自分が願った通りの実を見ることができず、いつもその事で心が暗くなっていました。でも、その日に心にあることを明け渡し祈ったとき、神様が聞いて下さったのがわかりました。牧師夫人が祈りの後、会衆に向かって、「祈った願いを神様は聞かれたよ。」言ってくくださったことも、確信への助けになりました。すでに天に置いて、イエス様のお名前によって成就したことを感謝します。今回のキャンプに参加できたことを改めて感謝致します。

イエス様は彼らに答えられた。「わたしの父は今に至るまで働いておられます。ですからわたしも働いているのです。」(ヨハネ5:17)



キャンプでの思い出の1つは、ギター部で演奏させていただいたことです。

毎週土曜日にギター部の練習があり、参加させていただいています。最初は、自分は賛美、ギターは無理だと思っていたなかなか始めることができませんでした。牧師婦人に何度も励まされ、先に始めていた姉や他の婦人の方にギターを教えてもらいながら、時間はかかってしまいましたが始めることができました。牧師婦人に練習を通して神様を心からほめたたえること、感謝することの大切さを教えてもらいました。その時、自分の中にも喜びがありました。技術的に練習不足や賛美のことについてもわからないことがたくさんありますが、練習や訓練の機会を与えていただいたこと感謝でした。礼拝の時や一人の時も心から神様に感謝し賛美できるようにしていきたいです。



冬のキャンプに参加することができその恵みを神様に感謝します。

今回のキャンプでは生き方について考えさせられました。

荒野でマナを与えられて生きる生き方、メッセージを聞く中で、

まだ自分のために生きていることに気づきイエス様はご自分のためには生きず

十字架の死にまで従い復活され約束の地へと道を備えてくださいました。

イエス様が生き方の模範をしめてくださったように神様が私に望んでいる目的に従って生きる生き方へと、変えられていけることを感謝します。

キャンプ中のある日の祈り会の時、牧師婦人が「わたしはみんなのお母さんだから、何でもわかるよ」とおっしゃいました。わたしはそのことばを聞いて、自分のことを知っていてくれて、日々ことばをかけてもらって、また育ててもらっていることに感謝の心が湧いてきました。それに引き換え、私はどうだろう？神様が与えてくれた子どもたちに必要なことばを伝えているかなと振り返ると、できていない、足りていないことが示されました。ひとりひとりをよく見て導いて行くには、もっと神様に頼って聞く必要があることが分かり、ひとつの願いとして求めたキャンプでした。教会の婦人として、教会の子どもたちのお母さんのひとりになってみんなが成長できるように用いられていきたいです。キャンプで受けた恵みに感謝します。

わが子よ。あなたの父の命令を守れ。あなたの母の教えを捨てな。これは、あなたが歩くとき、あなたを導き、あなたが寝るとき、あなたを見守り、あなたが目ざめるとき、あなたに話しかける。(箴言6:20,22)

